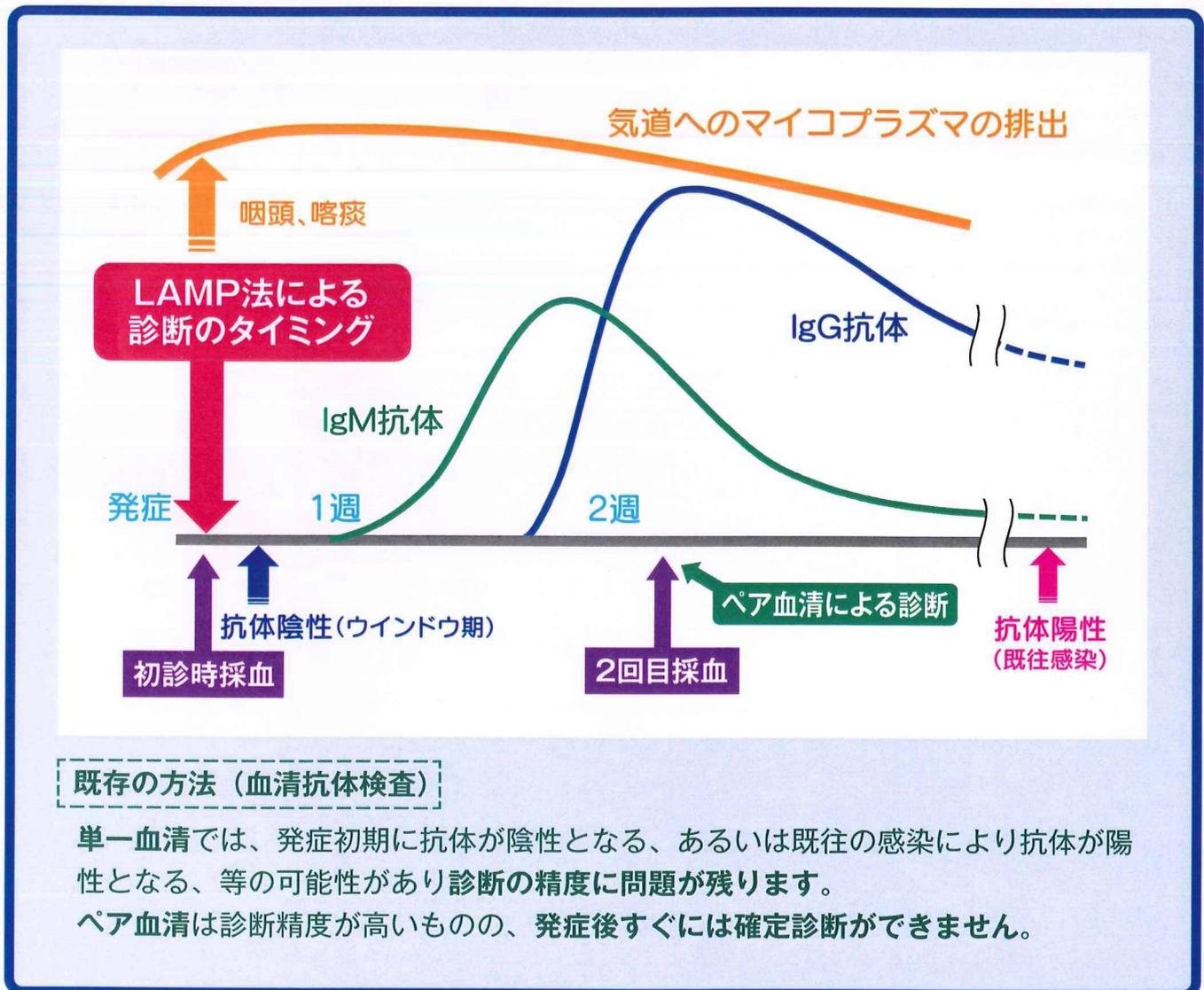


マイコプラズマ肺炎検査の 新しいスタンダードに LAMP 法



高感度の遺伝子増幅法 (LAMP法) なら
発症初期からの診断が可能です!

急性下気道感染症が疑われる207症例の臨床性能試験において、LAMP法と培養法
の一致率は95.2%（197/207）で、抗マイコプラズマ抗体価試験と培養法の
一致率は91.8%（190/207）でした¹⁾。

また、LAMP法と臨床診断との一致率は96.1%（199/207）でした²⁾。

LAMP法と培養法との相関性¹⁾

		LAMP法		
		+	-	計
培養法	+	59	1	60
	-	9	138	147
	計	68	139	207

陽性一致率： 98.3%
陰性一致率： 93.9%
全体一致率： 95.2%

LAMP法の判定結果と臨床診断との相関性²⁾

		LAMP法		
		+	-	計
臨床診断	+	68	8	76
	-	0	131	131
	計	68	139	207

陽性一致率： 89.5%
陰性一致率： 100.0%
全体一致率： 96.1%

1) 山口恵三他；LAMP法を用いた *Mycoplasma pneumoniae* と *Legionella* spp.による呼吸器感染症の迅速診断試薬
の評価. 医学と薬学58(4)565-571,2007

2) 栄研化学（株）「Loopamp[®]マイコプラズマP検出試薬キット」添付文書

LAMP法

肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）の特異的DNAを直接検出する遺伝子増幅検査法
で、特異性が高く検体中の肺炎マイコプラズマを迅速かつ高感度に検出可能です。

マイコプラズマ肺炎では発症初期から、長ければ数週間に渡って、肺炎マイコプラズマの病原体
が気道に排出されると言われており、LAMP法では発症2日目～16日目での検出例が確認され
ています。

保険収載：D023 4 マイコプラズマ核酸検出 300点
D026 6 微生物学的検査判断料 150点

【検査要項】

検査コード	検査項目	材料	容器	保存条件	所用日数	検査方法	基準値	診療報酬 区分番号	保険点数	保険収載名称
7751	マイコプラズマ・ ニューモニエ核酸同定	咽頭・鼻咽 頭ぬぐい液	QA (=Q14)	必凍	2~3	LAMP法	検出せず	D023-4	300	マイコプラズマ 核酸検出

※九州・沖縄地区は所要日数3~4日となります。